

信友

信友会事務局
東京都新宿区高田馬場
3丁目45-4
電話 03-5330-1192 (代)

全国信友会の皆さんへ

会長 中村 暁



全国の信友会の皆様、ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

今年4月、中里前会長から会長を引き継いで頂いた中村でございます。紙上からではございますが、信友会にこれからもご理解を頂き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

政治、経済を中心に世の中全体が複雑に絡み合いながら速いテンポで時代が進んでいます。私達が長年携わってきた国防の務めもその渦中にあると思います。冷戦構造が崩れて紛争も様々な様相になり、軍隊の用いられ方が紛争やテロの抑止、対処から平和維持活動更に民生支援等まで広範囲にわたるようになってきました。ややもすると軍隊の真の目的やあり方を見失うようなことになりかねません。欧米諸国の軍隊では、軍の使命や役割、行動について、軍人は勿論のこと文官、政治家、財界、マスコミ等に対して理解してもらうことに努力しています。米国防隊は現代戦に勝ち抜くために、「現代の戦争は統合戦であり、チー

ム戦である。」ことをいち早く強調し、徹底しようとしています。陸・海・空軍及び海兵隊の4軍は、それぞれ特有の能力を最大限に発揮して統合戦チームに参加できるように共通の考え方や精神的な絆を築くことを求められています。そのために、米軍や英国防隊は自らの独自性、絆を築くために「自分は何者であるのか」「自分は何をなすべきなのか」「自分はどのようにすべきなのか」という根元に溯って自らを問い直しています。そしてこのことを如何にして全軍に徹底するかということに腐心しています。昨年6月に米国防隊の最上位の教範である「The Army (陸軍)」や「Operation (作戦)」が統合教範にリンクして大幅に改訂されました。その「The Army (陸軍)」の序文の中でシンセキ陸軍参謀総長は、「米国防隊はチームであり、陸軍は、制服を着ている兵士と彼等を支えるシビリアンだけではない。兵士やシビリアンの家族と共に退役軍人、退職者も含んでいる」と最初に強調しています。また、シンセキ陸軍参謀総長は、「陸軍の退役軍人は、名誉を担って国家に尽くしたアメリカ人であり、陸軍や国家に計り知れない貴重な貢献をしています。彼等は既に制服を着ていないが、多くの先輩が今なお支援活動に奉仕している」とも述べています。

「陸軍チーム」というのはわが国では陸軍一家と言う方が分かり易いと思います。仲間意識や精神的な絆というものは、特に敵と直接血を流して戦う闘争集団にとっては極めて重要なことだと思います。現実には戦ってきた米国防隊から実感として言えることかもしれません。また、多民族の男女から構成されている米国防隊が常に強固な結束を保持しようとする意識の表れだとも思います。陸上自衛隊では「通信科」に最もそれに近い意識や絆があるように思います。長い間通信科の先輩や現役の皆さんによって築かれてきた通信科精神や相互の絆のようなものが、如何に大切な今日自衛隊全体に問われているような気がします。

信友会が永続し、他に誇れるのは皆様の心の中心にあるこの絆だと思っています。先輩の皆様方として現役の皆さんもそれぞれの立場で出来ることを実践して後輩の皆さんに通信科の絆を次々に引き継いで頂きたいと願っています。信友の皆様が一同に会するのは難しいことですが、信友会総会及び地方大会並びに機関紙や住所録等によりお互いに消息を確かめ合い、結束を深めて頂ければ幸いです。

では陸軍一家と言う方が分かり易いと思います。仲間意識や精神的な絆というものは、特に敵と直接血を流して戦う闘争集団にとっては極めて重要なことだと思います。現実には戦ってきた米国防隊から実感として言えることかもしれません。また、多民族の男女から構成されている米国防隊が常に強固な結束を保持しようとする意識の表れだとも思います。陸上自衛隊では「通信科」に最もそれに近い意識や絆があるように思います。長い間通信科の先輩や現役の皆さんによって築かれてきた通信科精神や相互の絆のようなものが、如何に大切な今日自衛隊全体に問われているような気がします。

叙 勲

おめでとうございます

(春)

勲四等旭日小授章 佐藤 恒 (元施設庁建設部通信課長)
勲四等旭日小授章 下山 一成 (元中央基地通信隊長)
勲四等旭日小授章 中本 吉昭 (元通信補給処長)
勲四等瑞宝章 青木 猛 (元通信学校研究部研究員)
勲五等双光旭日章 池上 郁二 (元通信団本部第4科長)
勲五等双光旭日章 塚田 然應 (元通信学校第1教育部特設教育隊長)

(秋)

勲五等双光旭日章 清藤 健 (元九州地区補給処通信部補給課長)
勲五等双光旭日章 平島 亘 (元第103基地通信大隊長)
勲五等双光旭日章 鎗分 淳司 (元陸幕調査部調査別室)

39周年総会・懇親会

信友会39周年記念の総会及び懇親会を左記のように実施します。また懇親会は恒例により現役と共催で行います。

一、日時 平成十五年二月二十日(土) 十一時半より

(一) 総会 一一:三〇〜一二:〇〇

(二) 懇親会 一二:〇〇〜一四:〇〇

二、場所 第一ホテル東京

電話 〇三三三三〇一四四一一

住所 東京都港区新橋一丁目二六

(JR新橋駅日比谷口徒歩二分)

三、会費 九〇〇円(会場費いただきます)

【お願い】

出欠について同封のはがきで御返信下さい。



38周年 懇親会

信友会 新入会員名簿

(02.信友紙掲載以降)(H14.10.31日現在)

氏 名	〒	現 住 所 (電話)	動 務 先 (電話)	最終補職等
井上 誠二	862-0937	熊本県熊本市長嶺西1丁目9番1-212 (096-385-4093)	㈱仁和 (096-345-6868)	西通群 (H13.9.17)
鈴木 洋子	228-0802	神奈川県相模原市上鶴間3026-1-705 (042-766-9546)		通校 (H13.9.8)
城本 孝	362-0014	埼玉県上尾市本町6-9-20 9丁目4-10 (048-876-2243)	自営	大宮駐隊 (H13.9.21)
野坂 利雄	359-1142	埼玉県所沢市上新井1136-52 (042-921-1459)	総合防災ソリューション (03-3515-2230)	東方通群 (H13.2.22)
大谷 利徳	412-0043	静岡県岡崎市新橋1547-2 (0550-82-6639)	㈱アオイ	装備開発隊 (H13.2.22)
小山 亘	509-0258	岐阜県可児市若葉台9-164 (0574-65-1307)	東京海上火災(美濃加茂) (0574-25-3279)	第10通大 (H13.10.4)
野崎 克彦	351-0104	埼玉県和光市南1-30-17 (048-468-5350)	東海理研㈱ (03-5299-4861)	補給統制本部 (H14.1.28)
佐々木年昭	071-8133	北海道旭川市本広3条7丁目4番7号 (0166-57-4153)	北陸銀行旭川支店 (0166-28-4111)	(H13.12.19)
白根 謙一	068-0826	北海道岩見沢市東山町43-23 (0126-25-7702)	三井グリーンランドホテルサンプラザ (0126-23-7788)	岩見沢駐隊 (H14.2.9)
東原 國憲	334-0056	埼玉県川口市栄65-13 (0448-294-7607)	日動火災海上保険㈱ (03-3543-6111)	通信団本 (H13.11.20)
横田 敏夫	860-0866	熊本県熊本市清水亀井町23-21 (096-344-2483)	自営	第8通大 (H14.3.25)
小川 正富	239-0831	神奈川県横須賀市久里浜2-17-17 (0468-34-2573)	郵防衛弘済会 (03-3268-3111)(内42531)	通信保護隊 (H14.3.6)
浅野 利信	486-0904	愛知県春日井市宮町下夕原7-1スベクトルティアラ宮町502 (0563-33-7618)	日本電話施設㈱ (052-445-2134)	中通群 (H14.1.2)
立花 幸悦	066-0037	北海道千歳市新富2-10-14 (0123-27-4036)	ながぬま農協組合	北処 (H14.3.9)
渡邊 光啓	277-0043	千葉県柏市南澄1-7-7 (0471-72-7153)	住友生命保険相互会社 (03-5550-4339)	第11師団
石川 澄男	251-0032	神奈川県藤沢市片瀬2-18-28 (0466-28-7757)	㈱東芝 (03-3457-3054)	通信団本 (H14.3.5)
米塚 正	300-1221	茨城県牛久市牛久町3010-110 (0298-74-8086)	池上通信機㈱ (03-5748-2251)	通信団本 (H14.3.8)
市川 政春	022-0042	宮城県仙台市若林区大和町5丁目11-32-1107 (022-236-7574)	㈱ハギワラ (0222-234-1651)	東北通群 (H14.4.15)
笠井 環	005-0006	北海道札幌市南区澄川5条12丁目7-8 (011-553-1977)	東京美装興業新札幌支店 (011-841-0183)	北通群 (H14.5.9)
山内 智雄	331-0052	埼玉県さいたま市三橋1-610-1-609 (048-654-0281)	㈱イーエルム (0297-70-5262)	通信団本 (H14.7.31)
干場 一雄	665-0814	兵庫県宝塚市山本野里3-7-42 (0797-89-6439)	千歳駐屯地業務隊 (0727-81-0021)	中方通群 (H14.4.19)
新田 易	683-0051	鳥取県米子市勝田町145-3 (0859-31-0417)		中方通群 (H14.6.10)
金田 弘之	289-1326	千葉県山武郡武東町成東3408-5 (0475-82-5030)	自営 (0475-82-5030)	補給統制本部 (H13.7.17)
谷本 實	763-0093	香川県丸亀市郡家町949-5 (0877-33-2119)	常石造船㈱多度津工場 (0877-33-2119)	第2混成団本 (H14.7.31)
丹生 明正	187-0004	東京都小平市天神町1-32-24 (042-343-8600)	明星電気㈱ (03-3814-5124)	通信団本 (H14.10.7)
市森 克己	239-0831	神奈川県横須賀市久里浜2-20-17-1 (0468-34-6465)	旭通信㈱ (0468-35-4567)	通校 (H14.6.22)
森崎 淳一	860-0091	熊本県熊本市京町本丁2-56 (096-352-8199)	マルキン食品㈱ (096-352-5232)	西通群 (H14.10.29)
羽生 信義	062-0932	北海道札幌市平岸2条11丁目2-1-100 (011-837-2660)	㈱ジョイントシステムズサービス (011-532-3940)	北通群 (H14.9.17)
浅野 孝一	331-0058	埼玉県さいたま市飯田250-13 (048-623-0870)	あいおい損保㈱ (048-855-5988)	補給統制本部 (H14.10.26)
岡田 長一	364-0011	埼玉県北本市朝日2丁目238-3099 (048-593-3099)		通信団 (H14.11.20)

いるつもりになっております。

とくに郷土芸能は、小・中学生を主体に毎週一回活動しております。

陸自通信電子

の現況

陸幕通信電子課

一 はじめに

平成十四年度は、「二十一世紀二年目の年」という希望に満ちた言葉の響きとは裏腹に、景気回復の兆しは見えず、下がることの無い筈だった自衛官の給与までカットされるという状況ではあります。通信電子の分野においては、IT不況の暗い陰はあるものの、社会現象としては、ユビキタス、ブロードバンドなどの普及により、また、陸上自衛隊においては陸自指揮システムのAP二〇〇化が完了し、待望の野外システムで完結した等、二十一世紀をリードするのは通信電子であることを改めて確認する年であると言えるのではないだろうか。

平成十五年度は、C4I2及びIT関連の通信電子器材の継続的な整備が進むとともに、年度末に予定されている陸幕改編及び陸幕整備部から補給統制本部への業務移管に向けて諸準備を強力に推進するとともに、陸上自衛隊の多様な役割への対応及び行動して評価される陸上自衛隊に必要不可欠な通信電子装備の充実のため、鋭意努力する所存であります。

二 主要通信電子器材の整備

平成十四年度末には、北部方面隊の方面隊電子交換システムへの更新が終了し、新しい電子戦システムが第一電子隊に整備されます。また、平成十五年度には、富士学校及び通信学校等の八五式野外無線機が新野外無線機に、東北方面隊の方面隊電子交換装置が、方面隊電子交換システムにそれぞれ更新されます。新規整備としては、遠隔操縦観測システムが、いよいよ

西部方面隊に整備されるほか、新地上無線機及び新個人暗視眼鏡が平成十四年度の実用試験の成果を得て整備化される予定です。

三 体制変換

通信電子関係の分野においては、既に内局の「運用局 指揮通信課」が「長官官房 情報通信課」に改編されておりますが、陸上幕僚監部においても平成十五年度末に改編が予定されており、陸幕の「防衛部 運用課 システム・通信」と「防衛部 情報通信・研究課」の改編が予定されています。

また、部隊に関しては、平成十五年度末の第五師団の旅団化により、第五通信大隊が第五通信中隊へと改編される他、後方支援体制に改組される等、平成十四年度末に西部方面隊、平成十五年度末には中部方面隊が新体制に変換される予定です。この他、通信団及び一部の方面通信群において基地通信部隊とシステム管理部隊の一体化が予定されています。

四 補給統制本部への業務移管

平成十五年度末に、陸幕整備部から補給統制本部への業務移管が予定されています。これは、陸幕業務を効率化・合理化、人材を部隊に還元して部隊を活性化するという目的のため整備部及び衛生部の業務の一部を補給統制本部に移管するもので、現在陸幕整備部及び衛生部で実施している中央調達業務をはじめ、予算執行、調達、補給業務及び類別・標準化業務等を補給統制本部に移管するものです。現在は、その準備のため、第二回目の実員検討を実施中です。

五 IDDN整備事業

昭和六一年度から実施してきたIDDN整備事業も、いよいよ最終段階となり、中及び西方管内の自営マイクロ回線を整備中です。この他、部外回線によるルートの整備、相馬原副局の整備等を経て、平成十六年度には整備が完了する予定となっています。

防衛情報通信基盤の整備

防衛情報通信基盤(DI)の整備に關しては、当面、内局IT検討GP及び各幕で業務を分担して整備して参りますが、平成十四年度末には防衛情報通信基盤管理運営室が統轄に新編されます。この準備段階として、平成十四年八月に準備室が開設され、DIの管理運用に必要な規則・協定等の準備、関係機関等との調整、予算要求等の業務を実施中です。

七 おわりに
この記事を書いている傍らで、「液晶パネルにマイクロプロセッサを埋め込むことに成功」とのニュースが報道されています。ウェアラブルコンピュータを身につけたラズロウ・ウォリアの出現も決して遠くないことを実感します。最新技術動向に目を向けて将来態勢を検討することから、現有器材の可動率向上、退役器材の不用品化まで、幅広く実行の深い分野において陸自通信電子の充実・発展のため鋭意努力する所存でございます。

二、信友会役員の紹介
平成十四年度の信友会総会では、長等役員の交代が承認されました。ご尽力いただいた前会長中里義弘氏は新名簿を作成・配布いたします。

三、地区懇親会の実施

今年度は、別途コーナーの紹介の通り、札幌地区で行う予定です。昨年度と同様に名簿修正資料を送付いたしました。また、本年度は新名簿を作成・配布いたします。

四、名簿の発行

「信友」では会員皆様のご寄稿をお待ちしています。経験談、創作国内外見聞録等何でも結構です。ご寄稿された方は、信友会事務局(電話〇三・五三三〇一一九二代)へご連絡下さい。紙数に限りがありますので多数に場合は調整させていただきます。

【計報】 謹んで御冥福をお祈り申し上げます

(平成14年10月31日現在)

氏 名	逝去年月日	〒	御遺族住所(ご遺族)(電話)
山田 実	H13.1.28	228-0816	神奈川県相模原市双葉1-1-40
笠野 繁	H14.2.12	350-1101	埼玉県川越市市場2833-8 (0492-31-1813)
室賀 勝廣	H14.2.8	194-0035	東京都町田市忠生4-15-16 (042-797-1428)
吉武 徹也	H14.2.18	354-0018	埼玉県富士見市西みずほ台1-3-3-402 (0492-53-2399)
小泉 降次	H14.3.1	330-0023	埼玉県大宮市大和田町2-1578-1 (048-688-7301)
高橋 郁三	H14.3.15	178-0061	東京都練馬区大泉学園町5-1613 (03-3923-2040)
上野 哲	H14.4.12	285-0925	千葉県印旛郡酒々井町上本佐倉1-1-6 (043-496-3145)
植原 弘	H14.5.8	251-0043	神奈川県藤沢市辻堂5-10-28 (0467-86-4088)
福岡 秋月	H14.7.15	238-0023	神奈川県横須賀市森崎4-9-10 (0468-34-3588)
石山 克典	H14.8.19	820-0052	福岡県飯塚市相田3-141 (0948-24-7229)
小谷 章	H14.8	240-0112	神奈川県三浦郡葉山町堀内595-4 (0468-75-5180)
蔦末 稔	H14.10.1	343-0843	埼玉県越谷市蒲生茜町19-8-605 (0468-85-5808)

平成14年度信友会会計報告

(H14.1.1~H14.12.31)

(単位:円)

収 入	支 出
前年度繰越	4,326,525.-
終身会費	260,000.-
名簿代	0.-
通信事務費	1,536,000.-
利子	3,519.-
第38回総会収入	2,556,000.-
寄付等	0.-
計	8,682,044.-
慶弔費	71,500.-
通信事務費	256,153.-
印刷費	249,431.-
謝礼	1,000.-
地方交付	0.-
第38回総会支出	2,551,827.-
次年度繰越	5,552,133.-
計	8,682,044.-

以上のとおり報告します。

平成14年12月31日

会計幹事

細田 修 ㊞

山本 公志 ㊞

監査の結果相違ありません。

平成14年12月31日

監事

栗原 廣 ㊞

小島 一三 ㊞

事務局だより

一、近況

昨今は本当に驚かされるニュースが目につきます。これも、平成維新の一度は通過しなければならぬ関門でしょうか。それにしても就職支援を取り巻く環境も大変厳しく、定年退職されるご本人はもとより支援担当者のご苦労はいかばかりかと推察いたします。

そんな中、昨年の第三十八回通信科・信友会合同歓迎会では会員一四九名、現役一三九名の参加を得て会員と現役相互の親睦の他に「情報交換」「元気の分かち合い」等盛大に開催することができました。皆様のご支援とご協力大変有り難うございました。

事務局では、引き続き会員相互の親睦を図ることをモットーに活動してまいりますので、会員皆様のご支援をお願いいたします。

二、信友会役員の紹介
平成十四年度の信友会総会では、長等役員の交代が承認されました。ご尽力いただいた前会長中里義弘氏は新名簿を作成・配布いたします。

氏、総務幹事 河内正臣氏、機関紙幹事 古澤清志氏、名簿幹事 小沢孝男氏、監事 熊谷 猛氏の五名が退任されました。大変ご苦労様でした。

新役員の体制は次の通りです。(敬称略)
【会長】 中村 曉
【副会長】 廣田英雄
【事務局長】 水口二平
【総務長】 安藤正之
【経理長】 村越和男・福井孝三
【名簿長】 石川澄平・丹生明正
【機関紙長】 中島嘉宣
【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三

【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三
【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三

【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三
【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三

【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三
【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三

【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三
【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三

【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三
【監事】 長 栗原 廣
【監事】 長 小島 一三